



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6615 URL https://www.umc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大年 浩太  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部 部長 (氏名) 千葉 成晃 (TEL) 048-724-0001  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	99,917	△1.1	1,376	26.2	1,019	—	367	—
2024年3月期第3四半期	100,998	△19.9	1,090	△30.5	△144	—	△562	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,198百万円( —%) 2024年3月期第3四半期 △204百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 13.00	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	△19.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 81,533	百万円 19,370	% 23.7
2024年3月期	79,015	19,717	24.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 19,318百万円 2024年3月期 19,670百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2025年3月期	—	5.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△4.8	2,100	2.8	1,300	5.4	1,050	2.8	37.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	28,277,620株	2024年3月期	28,277,620株
2025年3月期3Q	137,886株	2024年3月期	86株
2025年3月期3Q	28,262,502株	2024年3月期3Q	28,277,534株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は株式給付信託 (BBT) を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託 (BBT) に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金					年間配当金 総額(合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7,400.00	円 銭 7,400.00	百万円 51
2025年3月期	—	3,710.00	—			
2025年3月期 (予想)				3,690.00	7,400.00	44

(注) 1. 当社は、2021年3月30日に第三者割当によるA種優先株式を発行いたしました。

2. 当社は、2024年7月11日に株式会社みずほ銀行より当社発行のA種優先株式一部(1,000株)を取得して、同日付で消却を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループをとり巻く環境は、中国市場の需要低迷影響を受けて自動車関連は低調、その一方で半導体関連の設備投資やOA機器市場では回復傾向が継続しました。しかしながら、世界的な金融引締め継続、海外景気の下振れ懸念、エネルギー価格及び資源価格の高止まり、地政学的リスクや金融資本市場の変動の影響等から依然として先行きは不透明な状況が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は999億17百万円(前年同期比1.1%減)となりました。損益面においては、営業利益は13億76百万円(前年同期比26.2%増)となりました。経常損益は10億19百万円の利益(前年同期は1億44百万円の経常損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は3億67百万円の利益(前年同期は5億62百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当社グループは、EMS事業とその他の事業を営んでおりますが、ほとんどがEMS事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、EMS事業の製品分野別の売上高とその他の事業の売上高は以下のとおりであります。売上高の金額については、連結相殺消去後の数値を記載しております。

#### ① EMS事業

当社グループの主たる事業であるEMS事業の売上高は993億42百万円(前年同期比1.1%減)となりました。製品分野別の業績の概況は次のとおりであります。

##### (車載機器)

電動コンプレッサー向け部品やハイブリッド車向け部品が好調に推移したものの、中国市場における需要低迷の影響が継続し、売上高は531億41百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

##### (産業機器)

半導体設備投資需要の復調による売上増加はあるものの、インバーター等の制御機器製品の需要低迷による取扱高の減少により、売上高は152億89百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

##### (OA機器)

複合機やレーザープリンタ向け製品の生産が好調に推移し、売上高は306億64百万円(前年同期比35.7%増)となりました。

##### (その他)

コンシューマー製品とアミューズメント向け開発が主な事業内容になり、売上高は2億47百万円(前年同期比43.4%減)となりました。

#### ② その他の事業

人材派遣業の売上高は5億74百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は815億33百万円(前連結会計年度末比25億17百万円増加)となりました。これは主に、棚卸資産が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債につきましては、621億62百万円(前連結会計年度末比28億64百万円増加)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金が減少した一方で、買入債務が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、193億70百万円(前連結会計年度末比3億46百万円減少)となりました。これは主に、為替換算調整勘定が増加した一方で、資本剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました数値から変更はありません。業績の見通しの前提となる為替レートは、1 USD=145円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,266	13,699
受取手形、売掛金及び契約資産	13,649	14,092
製品	2,570	3,231
仕掛品	442	658
原材料及び貯蔵品	19,677	17,044
未収入金	727	701
未収消費税等	793	890
その他	2,738	2,435
流動資産合計	50,867	52,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,017	6,845
機械装置及び運搬具（純額）	8,130	9,722
その他（純額）	4,602	3,615
有形固定資産合計	19,750	20,183
無形固定資産	351	664
投資その他の資産	8,046	7,930
固定資産合計	28,147	28,779
資産合計	79,015	81,533
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,658	20,506
短期借入金	21,415	19,755
1年内返済予定の長期借入金	1,863	2,007
未払法人税等	297	450
賞与引当金	665	637
その他	4,863	5,957
流動負債合計	45,764	49,314
固定負債		
長期借入金	11,813	11,290
退職給付に係る負債	822	783
繰延税金負債	44	27
その他	854	746
固定負債合計	13,533	12,847
負債合計	59,297	62,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,729	4,729
資本剰余金	5,784	4,782
利益剰余金	7,846	7,714
自己株式	△0	△44
株主資本合計	18,359	17,181
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,304	2,130
退職給付に係る調整累計額	5	6
その他の包括利益累計額合計	1,310	2,136
新株予約権	29	29
非支配株主持分	17	22
純資産合計	19,717	19,370
負債純資産合計	79,015	81,533



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	100,998	99,917
売上原価	95,882	94,514
売上総利益	5,115	5,402
販売費及び一般管理費	4,025	4,026
営業利益	1,090	1,376
営業外収益		
受取利息	81	127
受取配当金	1	0
受取地代家賃	906	846
その他	103	95
営業外収益合計	1,093	1,070
営業外費用		
支払利息	710	478
賃貸費用	943	733
為替差損	518	71
その他	155	143
営業外費用合計	2,328	1,427
経常利益又は経常損失(△)	△144	1,019
特別利益		
固定資産売却益	0	12
特別利益合計	0	12
特別損失		
固定資産除却損	14	54
固定資産売却損	6	18
特別退職金	45	49
特別損失合計	67	122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△211	909
法人税等	348	536
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△560	372
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△562	367

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△560	372
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	350	825
退職給付に係る調整額	6	1
その他の包括利益合計	356	826
四半期包括利益	△204	1,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△206	1,193
非支配株主に係る四半期包括利益	2	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、EMS事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月30日開催の取締役会決議により、2024年7月11日付でA種優先株式の一部(1,000株)取得及び同日付で自己株式の消却を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,002百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,782百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」)

当社は、2024年6月27日開催の第57回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(社外取締役を除く)並びに経営役員、執行役員及び執行職(以下「取締役等」という)に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT(= Board Benefit Trust))」(以下「本制度」という)を導入しております。

1. 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式等が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

2. 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は次の通りです。

	帳簿価額(百万円)	株式数(株)
前連結会計年度末	-	-
当第3四半期連結会計期間末	44	137,800

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,317百万円	2,502百万円
のれんの償却額	8	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。